

演者のご紹介



帯津 良一

(おびつりょういち)

帯津三敬病院 名誉院長

1936年埼玉県生まれ。1961年、東京大学医学部卒業。東京大学病院第三外科、共立蒲原総合病院外科、都立駒込病院外科での勤務を経て1982年、埼玉県川越市に帯津三敬病院を設立し院長に就任。2000年、楊名時太極拳21世紀養生塾を設立し塾頭に就任。2001年、帯津三敬病院名誉院長。西洋医学に中国医学や代替療法を取り入れ、医療の東西融合という新機軸を基に、がん患者などの治療に当たっている。人間をまるごと捉えるホリスティック医学の第一人者としても名高い。

主な役職 日本ホリスティック医学協会会長 北京中医薬大学客員教授
日本ホメオパシー医学会理事長 北載河気功康復医院名誉院長
サトルエネルギー学会会長 世界医学気功学会副主席

主な著書 『ガンを治す大事典』(二見書房)、
『ガンになったとき真っ先に読む本』(草思社)、
『身近な人がガンになったとき何をなすべきか』(講談社)、
『帯津流ガンと向き合う養生法』(NHK出版)、
『気功的人間になりませんか』(風雲舎)、
『今日よりも、良い明日』(角川ISSコミュニケーションズ)他



平田 章二

(ひらた しょうじ)

平田口腔顎顔面外科腫瘍内科
がんヴィレッジ札幌 院長

1958(昭和33)年、釧路市生まれ。学習院中・高等科、神奈川歯科大学、東京医科歯科大学を経て、埼玉県立がんセンター勤務。ドイツケルン大学医学部留学(1987-89年:腫瘍外科)、札幌医科大学を経て、2006(平成18)年、がんヴィレッジ札幌を開設。現在は口腔顎顔面部領域の癌を中心に、「がん統合医療」とホスピスケアに携わっている。がん患者の身体と心の環境を整えるために、食事指導、サプリメント指導、ヨーガ、鍼灸、岩盤浴を取り入れている。特にサプリメント指導では、タビボ茶などを用いた補完代替医療を実践している。

所属学会 日本臨床抗老化医学会認定医、 日本バイオセラピー学会、
日本補完代替医療学会学識医、日本腫瘍学会、日本ヨーガセラピー学会理事、
日本癌治療学会、日本緩和医療学会 日本アーユルヴェーダ学会役員



大空 眞弓

(おおぞら まゆみ)

女優
株式会社オフィスのいり所属

東洋音楽高校(現 東京音楽大学附属高校)在学中にスカウトされ、1958年に新東宝に入社。デビューは映画『坊ちゃん天国』(近江俊郎監督作品)。1964年、TBSの東芝日曜劇場『愛と死を見つめて』が大ヒット。不治の病に冒される大島みち子役を熱演し、第3回日本放送作家協会女性演技賞を受賞。1990年には 舞台『人生はガタゴト列車に乗って』で、第15回菊田一夫演劇賞を受賞。舞台・映画・テレビドラマを中心に数々の話題作に出演。お茶の間での知名度はもちろん、その演技力は高く評価されている。また2003年には、自身が「がん」に罹患中であることを公表。そのときの体験などを語る講演なども行っている。

著書 『大空眞弓、「多重がん」撃退中』

主な出演作品 映画:『駅前シリーズ』『太陽の子』、『華麗なる一族』他

T V:『愛と死を見つめて』、『春日局』、『砂の器』他

舞台:『夢千代日記』、『人生はガタゴト列車に乗って』、『愛さずにはいられない』他